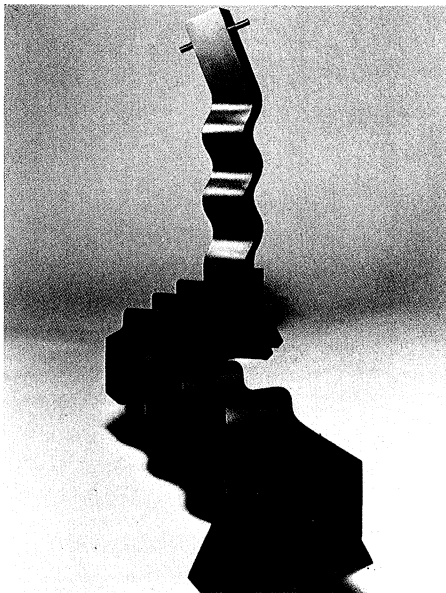


▲飯田善国「不規則なコンストラクション」1987年



▲建畠覚造「WAVING FIGURE 47(大)」1987年

〈関連事業〉

公開シンポジウム

「現代彫刻の可能性」

出席者・三木多聞 (司会)  
 飯田善国 (パネラー)  
 多田美波 ( )  
 最上壽之 ( )  
 岡崎乾二郎 ( )

日時 10月15日(日)午後1時30分～

場所 福島県立美術館講堂

# 美術館だより

## 「抽象彫刻の旗手たち」展

会期 9月30日(土)～11月5日(日)

会場 県立美術館

抽象彫刻とは、人体などを写実的に表現する伝統的な具象彫刻に対して、特定の対象を再現するのではなく、ボリュームや構成、空間感といった造形の基本的要素に基づいて様々な形態を自由に創り出す傾向の彫刻を総称して使われている言葉です。

その様な傾向をもった戦後日本の現代彫刻は、1960年代以降すぐれた作家が数多く輩出しています。彼らは個展や内外の国際的な彫刻展で斬新な作品を発表するなど、この分野での世界的な動向をリードする作家も数多く生まれました。鉄やステンレス、石や木を材質にしながら、室内から野外空間に出た現代彫刻は、野外彫刻展や彫刻シンポジウムの開催、都市空間への参加というように、現代社会との密接な関係を生み出してきただともいましょう。

この展覧会は、この様な日本の現代彫刻の歩みを踏まえながら、今日もこの分野で精力的に活躍している代表作家を紹介し、野外や室内での現代彫刻に親しんでいただこうというものです。

〈出品作家〉

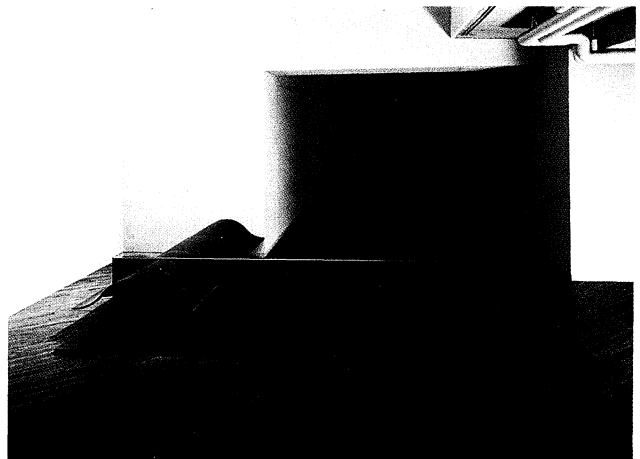
堀内 正和	建畠 覚造	清水九兵衛	飯田 善国
多田 美波	豊福 知徳	土谷 武	吾妻兼治郎
速水 史朗	山口 牧生	井上 武吉	保田 春彦
新妻 実	篠田 守男	澄川 喜一	江口 週
湯原 和夫	最上 壽之	小田 襄	若林 奮
伊藤 隆道	脇田愛二郎	田中 薫	橘田 尚之
山田 恵子	内田 晴之	金沢 健一	岡崎乾二郎

〈観覧料〉

一般・大学生 820円 (660円)

高校生 610円 (460円)

小・中学生 410円 (300円)



▲清水九兵衛「FIGURE C」1986年